

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工 事 名 _____

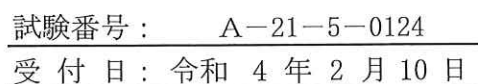
工事場所 _____

製 品 名 _____

福井市志比呂 3 番 1 4 号

株式会社 組 崎 羽 組





〔並砂利(40~20)〕

令和 4 年 4 月 1 日

発行責任者 所長 小林 宏成



骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	株式会社 羽崎組
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和4年2月10日
	試料採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場
	試料採取者	酒井 利視
試料搬入日		令和4年2月10日
試験日		令和4年2月12日 ～ 令和4年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	並砂利(40～20)	九頭竜川水系 坂井市丸岡町

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	8.00
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.3
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.69
		実積率 %	65.0
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.64
		絶乾密度 g/cm ³	2.60
		吸水率 %	1.44
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	12.3
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	1.2
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.02
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		煤田 直也	
試験担当者		煤田 直也	

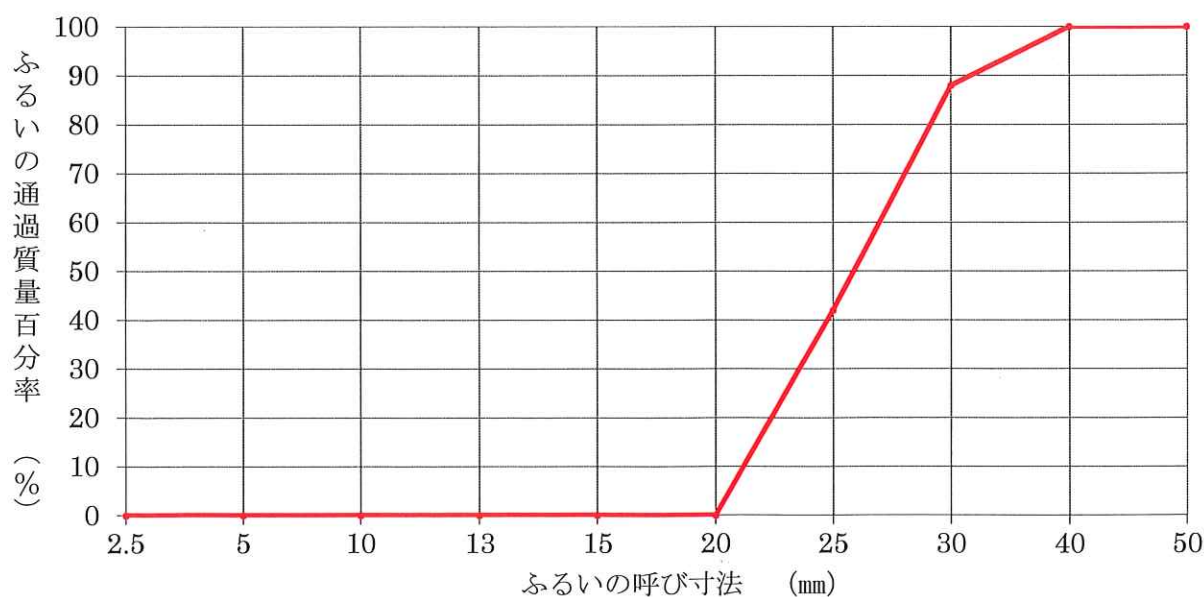
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 4 年 2 月 16 日			
試験料	種類	並砂利(40~20)	最大寸法	40 mm
	産地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町		
	採取日	令和 4 年 2 月 10 日		
	採取場所	株式会社 羽崎組 森田工場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	9023	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試験料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試験料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
50	0	0	0	100
40	0	0	0	100
(30)	1058	12	12	88
(25)	4141	46	58	42
20	3790	42	100	0
(15)	17	0	100	0
(13)	5	0	100	0
10	0	0	100	0
5	0	0	100	0
2.5	0	0	100	0
受け皿	6	0	100	0
合計	9017	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.07	粗粒率	8.00	

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 4 年 2 月 16 日	
試 料	種 類	並砂利(40～20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	4510.3	4623.6
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	4495.0	4607.8
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.3	0.3
2回の試験の平均値 (%)	$\bar{A}$	0.3	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 4 年 3 月 31 日	
試 料	種 類		並砂利(40～20)	
	産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数			1	2
単 位 容 積 質 量	容器の質量	(kg) (1)	6.700	6.700
	容器の容積	(l) V	9.953	9.953
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	23.510	23.529
	試料の質量＝(2)－(1)	(kg) m ₁	16.810	16.829
	単位容積質量＝ $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.69	1.69
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.69	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実 積 率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.60	
	実積率＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	65.0	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 4 年 3 月 17 日	
試 料	種 類		並砂利(40～20)	
	産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場	
試 験 回 数			1	2
表 乾 密 度	表乾状態の試料の質量 (g)	m ₁	4216.2	4286.7
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m ₂	3020.3	3063.2
	金網かごの水中質量 (g)	m ₃	398.3	398.3
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_1 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _s	2.64	2.64
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_s$	2.64	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶 乾 密 度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m ₄	4155.8	4226.4
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D _d	2.60	2.60
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_d$	2.60	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸 水 率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.45	1.43
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	1.44	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 煤田 直也

試 験 日				令和 4 年 3 月 16 日			
試 料		種 類		並砂利(40～20)			
		産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町			
		採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日			
		採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	質量百分率				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A～G	6～12	500または1000	m ₁
2.5	—	6	0				
5	2.5	0	0				
10	5	0	0				
15	10	5	0				
20	15	17	0				
25	20	3790	42				5000
40	25	5199	58				5000
50	40	0	0				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合 計		9017	100	G	12	1000	10000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂	8772			
すりへり損失質量		m ₁ －m ₂	(g)	1228			
すりへり減量		$\frac{m_1-m_2}{m_1} \times 100$		(%) 12.3			



試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 4 年 3 月 25 日			
試 料		種 類		並砂利(40～20)			
		産 地		九頭竜川水系 坂井市丸岡町			
		採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日			
		採 取 場 所		株式会社 羽崎組 森田工場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの		(g)	(g)	(%)	$\frac{① \times P_1}{100}$
(mm)	(mm)	質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	(%)
10	5	0	0	—	—	—	—
15	10	5	0	—	—	1.4	0.0
20	15	17	0	—	—	1.4	0.0
25	20	3790	42	1019	1005	1.4	0.6
40	25	5199	58	1530	1515	1.0	0.6
60	40	0	0	—	—	—	—
合 計		9011	100	—	—	—	1.2

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 4 年 2 月 21 日	
試 料	種 類	並砂利(40～20)	
	産 地	九頭竜川水系 坂井市丸岡町	
	採 取 日	令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所	株式会社 羽崎組 森田工場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	4536
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	4535
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.02

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

- ・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・ 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

株式会社 M・T 技研 中央材料研究所
〒 916-0068 福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723